

貴方のバラ 元気ですか？

シュートが出ますか？ 十分に花が咲いていますか？



世界最古のバラ 御年1200

才

バラは長寿の植物です。

日本での長寿のバラは170才、外国ではドイツの教会のつるバラで1000才とも1200才ともいわれています。

でも大半の方のバラは5年もすると花が咲かない、シュートが出ない、元気がないバラに変貌します。

なぜでしょうか？



**これが決めて**

**肥料多きはバラを短命にします。肥料は必要最小限までに減らしてください。**

**バラが育たない主因は肥料のやりすぎです。**

**化成肥料・鶏糞・油粕などの使用はおすすめできません。バラ専用有機配合肥料が無難です。**

# 肥料について



肥料をたくさん与えると花がよく咲く・シュートがよく出る。これを信じてせっせとバラに肥料を与える人がいます。  
これが失敗のはじまり。

肥料が多いと長雨などにより肥料が大量に溶けだします。まるで醤油のような濃い色の水に。この濃い水がバラの根を痛めます。

**ご注意  
ください！**

バラ専用の肥料には、必ず使用方法の説明がついているので、まずは厳密に守ること。

肥料袋には

施す時期  
与えるg数

を明記しています。

バラ肥料のメーカーは栽培試験をして最適量を決めています。ですから肥料袋に書かれていることを守る。これがバラ栽培の基本中の基本です。

**1** 肥料のやりすぎるとバラは元気をなくします。計量スプーン(スプーン型はかり)を用いて正確に量を計りましょう。



アマゾンや楽天で2000円以下で手に入ります。0.5g～500gの間で計量できます。

**2** バラに与える肥料は一種類だけ。これ以外の肥料はNGです。

**3** 花が咲かない(少ない)・シュートが出ない・元気がない. . . . . このような時には元気をとりもどすまで肥料を止めましょう。鉢バラなら半日陰にしばらくの間移動させましょう。



化成肥料などの速効性肥料／鶏糞はとても危険。根を痛めます。



**これが決めて**

バラは成長旺盛な植物。成長には豊富な水。バラが育たない方の大半は水を十分にやっているつもり、でもやり方に問題あり。水不足に陥っています。

## 水やりについて

バラは水が大好きな植物です。水やりを怠るとバラは大きくなれません。



ベークサルスシュートが出て伸長する頃の水不足は致命的。  
水不足を起こすとベークサルスシュートはしおれてしまいます。  
このような時には水を切らすことはタブーです。



新芽が2 cm位に伸びた頃の水切れには要注意です。この頃に水切れをおこすと、その花芽が枯れるのでブラインド枝(花の咲かない枝)になってしまいます。

芽が伸び始める頃から蕾が色づくまでの生育期に十分な水分量を与える必要があります。



葉がしおれて枯れる／出たばかりの若い葉がチリチリに...【肥料害・虫害・霜害のこともある】

枝先がしおれる、葉がしおれる、葉が落ちる、葉が黄色く...これが「水枯れ」です。数回「水枯れ」を起こすと夏にどっさり葉をおとします。



気温が20度を超える日には鉢バラには毎日水やりが必要です。たとえ天気予報で雨が降ると報じていてもです。



## 鉢バラ

1. 「鉢バラへの水やりは土が乾くまで待つ」 これ絶対におかしい。

土が乾くと根も乾きます。バラは根を乾かすとたちまち体力が衰えます。ですからまだ土に若干の湿り気がある時に次の水やりをするようにしましょう。

2. 鉢バラに水をやる時は鉢底から流れ出るくらい、たっぷりと。．．． これもダメ。鉢底から流れ出たとしても水は素通り。根の周辺の土はカラカラ。

土に水がしみ込むにはかなりの時間が必要です。水やりを1回ですますと土に水がしみ込む前に水やりが終了します。これでは鉢の底から水が流れ出たとしてもバラは水不足に。水やりは1回ではなく数回に分けて行います。たとえば1回目⇒しばらく待つ ⇒2回目⇒しばらく待つ ⇒3回目のように



## 地植えのバラ

1. 「地植えのバラには水を与えません」。⇒ それは極端すぎます。ベーサルシュートが出て伸長する頃／新芽が2cm位に伸びた頃／枝先がしおれる、葉がしおれる、葉が落ちる、葉が黄色く／葉がしおれて枯れる／出たばかりの若い葉がチリチリに、．．． このような時には水を与えましょう。
2. 夏の高温期で晴天が3日続いたら水をやりましょう。
3. やるときはたっぷり、例えば1株に10リットルのように。毎日やるのは行き過ぎです。



## これが決めて

農薬はうどんこ病・黒点病抑圧の決め手です。ただし農薬の使い方を間違えると黒点病菌・うどんこ病菌に耐性ができ、事態を深刻化にします。

農薬を使っているのに黒点病で葉を次々と失うのなら農薬の使い方が根本的に間違っているかもしれません。

農薬には問題があります。

同じ殺菌剤をかけ続けると、耐性菌が徐々に増加していき、最終的にその殺菌剤では効かない菌（薬剤耐性菌）だけになってしまい、薬が効かないこととなります。農薬の使い方がよくわからない人はうかつに農薬を使うべきではありません。



バラの中には黒点病になりにくいモノが多数あります。それら耐病力のあるバラの中から選ぶのが最高の黒点病対策です。

1. 黒点病・黒点病になりにくい、花がよく咲く、少ない肥料で育つ、このような特性のバラを修景バラと呼びます。インターネットで検索するとよいでしょう。名花・美花が多数あります。
2. デルバール社のバラは黒点病に強いと評価されています。インターネットでデルバール社のホームページを見られるのも一策です。  
たとえばスヴニール・ダムール・ビエ・ドゥー・ペイサージュ・シトロン・フレーズ・ペイサージュ・サントネール・ドゥ・ルルド・ローズ・ペイサージュ・サントネール・ドゥ・ルルド・ルージュ・ペイサージュ など



黒点病は葉を失う病気です。だとすれば葉を次々と出す活性剤を用いればよいのでは。

キトサン溶液「ばら専科」は清水園芸店専売のバラのための活性剤です。

「お客様のお声」～バラの専門誌より



バラの専門誌「マイガーデン」 57号 40ページ

キトサン溶液「ばら専科」を葉に散布すると、1年を通じてうどんこ病で悩まされることはま  
ずなくなりました。黒点病(黒星病)にもかかりにくくなり、無農薬栽培の、強い味方だと実感  
しています。

キトサン溶液「ばら専科」ならうどんこ病・黒点病被害を最小限にとどめることができ、少々  
葉が落ちても秋のバラへの支障は軽度におさまります。

## 密植について

観光バラ園の中にはバラをびっしりと植えているところがあります。こうすると見栄えがよ  
くなります。

見せるための演出です。

バラとバラの間隔が狭い状態を密植と言います。



**あなたはマネをしてはいけません。**

**密植は観光バラ園などの高度の栽培技術者と頻繁なる農薬散布によって成り立っているのです。**

**栽培技術のない人・農薬を使いたくないあなたがバラを密植するとバラは育たなくなります。**

**植物にはそれぞれ株間が決まっています。**

**バラの植え付け間隔は「1メートル」です。つるバラなら2m以上です。**

**これを守りましょう。**

**たとえばバラ同士の間隔を50cm～60cmにすると**

- 1. 枝と枝が重なるので強い剪定をすることになります。強い剪定をするとバラは大きくなれません。**
- 2. とくに強い樹勢のバラならなんとか生きていけるでしょうが多くのバラはそだちません。**
- 3. 密植すると黒点病・うどんこ病・べと病などが広がりやすい。**
- 4. 肥料書が出て立ち枯れるバラが出てきます。**

**ご質問・ご相談は 清水園芸店へ**

フリーダイヤル 0120-800-615

〒 689-4121 鳥取県西伯郡伯耆町大殿 1371-21